



平成 18 年 12 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社アーレスティ  
 代表者名 代表取締役社長 高橋 新  
 (コード番号 5852 東証第2部)  
 問合せ先 経営企画部長 辻 鶴男  
 (TEL 03-5332-6001)

(訂正)平成14年3月期決算短信(連結)

平成 14 年 5 月 28 日に発表いたしました「平成 14 年 3 月期決算短信(連結)」の一部に訂正を要する箇所がありましたので、下記のとおり訂正いたします。訂正箇所には\_\_\_線を付して表示しております。なお、訂正理由については、本日発表の「(訂正)平成 19 年 3 月期中間決算短信(連結)及び過年度分の決算短信の一部訂正について」をご参照ください。

1. 平成 14 年 3 月期の連結業績(平成 13 年 4 月 1 日~平成 14 年 3 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(訂正前)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
14 年 3 月期	61,649	4.1	<u>1,833</u>	<u>27.4</u>	<u>1,392</u>	<u>35.6</u>
13 年 3 月期	64,305	6.2	2,526	12.6	2,160	13.8

	当期純利益		1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	株主資本 当期純利益率	総資本 経常利益率	売上高 経常利益率		
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%		
14 年 3 月期	<u>714</u>	<u>54.8</u>	<u>45.</u> <u>32</u>	-	-	<u>5.6</u>	<u>2.8</u>	<u>2.3</u>	
13 年 3 月期	1,581	73.4	100.	37	-	-	13.8	4.5	3.4

(注) 持分法投資損益 14 年 3 月期 224 百万円 13 年 3 月期 47 百万円  
 期中平均株式数(連結) 14 年 3 月期 15,760,911 株 13 年 3 月期 15,760,736 株  
 会計処理の方法の変更 無  
 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

(訂正後)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
14年3月期	61,649	4.1	<u>1,975</u>	<u>21.8</u>	<u>1,539</u>	<u>28.7</u>
13年3月期	64,305	6.2	2,526	12.6	2,160	13.8

	当期純利益		1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	株主資本 当期純利益率	総資本 経常利益率	売上高 経常利益率		
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%		
14年3月期	<u>828</u>	<u>47.4</u>	<u>52.</u> <u>59</u>	-	-	<u>6.4</u>	<u>3.1</u>	<u>2.5</u>	
13年3月期	1,581	73.4	100.	37	-	-	13.8	4.5	3.4

(注) 持分法投資損益 14年3月期 229百万円 13年3月期 47百万円  
期中平均株式数(連結) 14年3月期 15,760,911株 13年3月期 15,760,736株  
会計処理の方法の変更 無  
売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

## (2) 連結財政状態

(訂正前)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
14年3月期	<u>49,732</u>	<u>13,669</u>	<u>27.5</u>	<u>867.</u> <u>37</u>
13年3月期	49,214	11,930	24.2	757. 00

(注) 期末発行済株式数(連結) 14年3月期 15,759,949株 13年3月期 15,760,543株

(訂正後)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
14年3月期	<u>49,866</u>	<u>13,797</u>	<u>27.7</u>	<u>875.</u> <u>47</u>
13年3月期	49,214	11,930	24.2	757. 00

(注) 期末発行済株式数(連結) 14年3月期 15,759,949株 13年3月期 15,760,543株

## 経営成績

(訂正前)

当連結会計年度におけるわが国の経済は、米国経済の減速を背景に輸出が減少し、企業の設備投資も収益の悪化とともに減少基調に入り、個人消費も雇用情勢・所得環境の厳しさから低迷を続けるなど厳しい環境化で推移いたしました。これに加え9月の米国で発生した同時多発テロ事件の影響により、欧州経済・アジア経済も低迷し、世界的に景気は悪化いたしました。このような状況の中で、当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用会社)は、売上拡大と原価低減活動を強力に展開してまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高 61,649 百万円(前年同期比 4.1%減)、営業利益 1,833 百万円(前年同期比 27.4%減)、経常利益 1,392 百万円(前年同期比 35.6%減)、当期純利益 714 百万円(前年同期比 54.8%減)にとどまりました。

### 事業の種類別セグメント

#### (1)ダイカスト部門

ダイカスト部門においては、売上高が 53,076 百万円(前年同期比 2.7%減)となりました。主力製品である車両部品は、自動車メーカーにより格差はあるものの、総じて国内生産減少の影響を受けました。収益面においては顧客からの厳しい値下げ要請と価格競争の中、生産性の改善を中心とした原価低減活動を積極的に進めてまいりました。この結果、営業利益は 3,429 百万円(前年同期比 12.4%減)にとどまりました。

#### (2)アルミニウム部門

アルミニウム部門においては、売上高が 4,038 百万円(前年同期比 1.3%減)となりました。市場変動の厳しい中、人員の見直しを含む生産性向上による原価低減と付加価値管理による営業活動を推し進めたことにより利益を確保することができました。この結果、営業利益は 199 百万円(前年同期比 21.3%増)となりました。

#### (3)完成品部門

完成品部門においては、売上高が 4,534 百万円(前年同期比 19.8%減)となりました。特に建材部門は世界的な半導体市場の不況により半導体生産工場に用いるクリーンルームへの設備投資が大幅に減退した影響を受けました。この結果、営業利益は 32 百万円(前年同期比 84.0%減)にとどまりました。

### 事業の所在地別セグメント

#### 日本

売上高の 85%を占めるダイカスト部門は、自動車メーカーにより格差はあるものの、国内生産減少の影響を受け、売上高は 53,783 百万円(前年同期比 5.7%減)となりました。その結果、営業利益は 3,179 百万円(前年同期比 14.3%減)にとどまりました。

#### 北米

米国の景気低迷の影響を受けたものの、売上高は 7,866 百万円(前年同期比 8.5%増)となりました。しかしながら、営業利益は 439 百万円(前年同期比 14.3%減)にとどまりました。

(訂正後)

当連結会計年度におけるわが国の経済は、米国経済の減速を背景に輸出が減少し、企業の設備投資も収益の悪化とともに減少基調に入り、個人消費も雇用情勢・所得環境の厳しさから低迷を続けるなど厳しい環境化で推移いたしました。これに加え9月の米国で発生した同時多発テロ事件の影響により、欧州経済・アジア経済も低迷し、世界的に景気は悪化いたしました。このような状況の中で、当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用会社)は、売上拡大と原価低減活動を強力に展開してまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高 61,649 百万円(前年同期比 4.1%減)、営業利益 1,975 百万円(前年同期比 21.8%減)、経常利益 1,539 百万円(前年同期比 28.7%減)、当期純利益 828 百万円(前年同期比 47.4%減)にとどまりました。

## 事業の種類別セグメント

### (1)ダイカスト部門

ダイカスト部門においては、売上高が 53,076 百万円(前年同期比 2.7%減)となりました。主力製品である車両部品は、自動車メーカーにより格差はあるものの、総じて国内生産減少の影響を受けました。収益面においては顧客からの厳しい値下げ要請と価格競争の中、生産性の改善を中心とした原価低減活動を積極的に進めてまいりました。この結果、営業利益は 3,565 百万円(前年同期比 8.9%減)にとどまりました。

### (2)アルミニウム部門

アルミニウム部門においては、売上高が 4,038 百万円(前年同期比 1.3%減)となりました。市場変動の厳しい中、人員の見直しを含む生産性向上による原価低減と付加価値管理による営業活動を推し進めたことにより利益を確保することができました。この結果、営業利益は 199 百万円(前年同期比 21.3%増)となりました。

### (3)完成品部門

完成品部門においては、売上高が 4,534 百万円(前年同期比 19.8%減)となりました。特に建材部門は世界的な半導体市場の不況により半導体生産工場に用いるクリーンルームへの設備投資が大幅に減退した影響を受けました。この結果、営業利益は 39 百万円(前年同期比 80.5%減)にとどまりました。

## 事業の所在地別セグメント

### 日本

売上高の 85%を占めるダイカスト部門は、自動車メーカーにより格差はあるものの、国内生産減少の影響を受け、売上高は 53,783 百万円(前年同期比 5.7%減)となりました。その結果、営業利益は 3,321 百万円(前年同期比 10.5%減)にとどまりました。

### 北米

米国の景気低迷の影響を受けたものの、売上高は 7,866 百万円(前年同期比 8.5%増)となりました。しかしながら、営業利益は 439 百万円(前年同期比 14.3%減)にとどまりました。

## (1)連結財務諸表等

## 【資産の部】

(訂正前)

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成13年3月31日)		当連結会計年度 (平成14年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)					
流動資産					
3.製品		2,827		<u>1,995</u>	
5.仕掛品		1,880		<u>1,853</u>	
流動資産合計		26,435	53.7	<u>24,959</u>	50.0
固定資産					
1.有形固定資産	2				
有形固定資産合計		16,273	(33.1)	17,264	(34.6)
2.無形固定資産					
無形固定資産		212		304	
無形固定資産合計		212	(0.4)	304	(0.6)
3.投資その他の資産					
(1)投資有価証券		4,789		<u>6,701</u>	
(5)繰延税金資産		708		<u>167</u>	
(6)その他		318		271	
(7)貸倒引当金		0		0	
投資その他の資産合計		6,293	(12.9)	<u>7,370</u>	(14.8)
固定資産合計		22,778	46.3	<u>24,939</u>	50.0
資産合計		49,214	100.0	<u>49,899</u>	100.0

【負債及び資本の部】

(訂正前)

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成13年3月31日)		当連結会計年度 (平成14年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)					
流動負債					
流動負債合計		28,343	57.6	26,304	<u>52.7</u>
固定負債					
3.退職給付引当金		2,556		<u>2,585</u>	
4.役員退職慰労引当金		95		88	
5.長期未払金		215		65	
固定負債合計		8,393	17.1	<u>9,623</u>	<u>19.3</u>
負債合計		36,736	74.7	<u>35,927</u>	<u>72.0</u>
(少数株主持分)					
少数株主持分		546	1.1	302	0.6
(資本の部)					
資本金		1,237	2.5	1,237	2.5
資本準備金		716	1.5	716	1.4
連結剰余金		10,460	21.2	<u>11,057</u>	<u>22.1</u>
その他有価証券評価差額金		-	-	1,127	2.3
為替換算調整勘定		473	1.0	458	0.9
		11,940	24.2	<u>13,680</u>	<u>27.4</u>
自己株式		0	0.0	0	0.0
子会社の所有する親会社株 式		9	0.0	10	0.0
資本合計		11,930	24.2	<u>13,669</u>	<u>27.4</u>
負債、少数株主持分及び資本 合計		49,214	100.0	<u>49,899</u>	100.0

【資産の部】

(訂正後)

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成13年3月31日)		当連結会計年度 (平成14年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)					
流動資産					
3.製品			2,827		<u>1,993</u>
5.仕掛品			1,880		<u>1,848</u>
流動資産合計			26,435	53.7	<u>24,952</u>
固定資産					
1.有形固定資産	2				
有形固定資産合計			16,273	(33.1)	17,264
2.無形固定資産					
無形固定資産			212		304
無形固定資産合計			212	(0.4)	304
3.投資その他の資産					
(1)投資有価証券			4,789		<u>6,724</u>
(5)繰延税金資産			708		<u>118</u>
(6)その他			318		271
(7)貸倒引当金			0		0
投資その他の資産合計			6,293	(12.9)	<u>7,345</u>
固定資産合計			22,778	46.3	<u>24,913</u>
資産合計			49,214	100.0	<u>49,866</u>

【負債及び資本の部】

(訂正後)

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成13年3月31日)		当連結会計年度 (平成14年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)					
流動負債					
流動負債合計		28,343	57.6	26,304	<u>52.8</u>
固定負債					
3.退職給付引当金		2,556		<u>2,424</u>	
4.役員退職慰労引当金		95		88	
5.長期未払金		215		65	
固定負債合計		8,393	17.1	<u>9,462</u>	<u>19.0</u>
負債合計		36,736	74.7	<u>35,766</u>	<u>71.7</u>
(少数株主持分)					
少数株主持分		546	1.1	302	0.6
(資本の部)					
資本金		1,237	2.5	1,237	2.5
資本準備金		716	1.5	716	1.4
連結剰余金		10,460	21.2	<u>11,185</u>	<u>22.4</u>
その他有価証券評価差額金		-	-	1,127	2.3
為替換算調整勘定		473	1.0	458	0.9
		11,940	24.2	<u>13,808</u>	<u>27.6</u>
自己株式		0	0.0	0	0.0
子会社の所有する親会社株 式		9	0.0	10	0.0
資本合計		11,930	24.2	<u>13,797</u>	<u>27.7</u>
負債、少数株主持分及び資本 合計		49,214	100.0	<u>49,866</u>	100.0



## (2)連結損益計算書

(訂正前)

区分	注記 番号	前連結会計期間 (自 平成 12 年 4 月 1 日 至 平成 13 年 3 月 31 日)			当連結会計期間 (自 平成 13 年 4 月 1 日 至 平成 14 年 3 月 31 日)		
		金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)		
売上高			64,305	100.0		61,649	100.0
売上原価			55,607	86.5		<u>53,664</u>	<u>87.0</u>
売上総利益			8,698	13.5		<u>7,985</u>	<u>13.0</u>
販売費及び一般管理費	1						
1. 給料及び賞与		1,928			1,335		
2. 退職給付費用		32			<u>101</u>		
3. 賞与引当金繰入額		-			508		
4. 役員退職慰労引当金繰入額		21			21		
5. 減価償却費		86			92		
6. 運送費		1,733			1,499		
7. その他の経費		2,367	6,171	9.6	2,593	<u>6,152</u>	<u>10.0</u>
営業利益			2,526	3.9		<u>1,833</u>	<u>3.0</u>
営業外収益							
1. 受取利息		27			17		
2. 受取配当金		25			31		
3. 連結調整勘定償却額		72			63		
4. 持分法による投資利益		47			<u>224</u>		
5. 賃貸料		76			64		
6. 金型補償代		190			48		
7. その他		171	612	1.0	70	<u>521</u>	<u>0.8</u>
営業外費用							
1. 支払利息		442			383		
2. 製品不良による返品加工賃		158			163		
3. 棚卸資産処分損		57			81		
4. 棚卸差損		181			310		
5. その他		139	979	1.5	22	961	1.6
経常利益			2,160	3.4		<u>1,392</u>	<u>2.2</u>
税金等調整前当期純利益			2,633	4.2		<u>1,089</u>	<u>1.7</u>
法人税、住民税及び事業税		943			377		
法人税等調整額		58	1,001	1.6	<u>16</u>	<u>361</u>	0.6
少数株主利益(減算)			49	0.1		13	0.0
当期純利益			1,581	2.5		<u>714</u>	<u>1.1</u>

(訂正後)

区分	注記 番号	前連結会計期間 (自 平成 12 年 4 月 1 日 至 平成 13 年 3 月 31 日)			当連結会計期間 (自 平成 13 年 4 月 1 日 至 平成 14 年 3 月 31 日)		
		金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)		
売上高			64,305	100.0		61,649	100.0
売上原価			55,607	86.5		<u>53,557</u>	<u>86.9</u>
売上総利益			8,698	13.5		<u>8,092</u>	<u>13.1</u>
販売費及び一般管理費	1						
1. 給料及び賞与		1,928			1,335		
2. 退職給付費用		32			<u>104</u>		
3. 賞与引当金繰入額		-			508		
4. 役員退職慰労引当金繰入額		21			21		
5. 減価償却費		86			92		
6. 運送費		1,733			1,499		
7. その他の経費		2,367	6,171	9.6	2,593	<u>6,116</u>	<u>9.9</u>
営業利益			2,526	3.9		<u>1,975</u>	<u>3.2</u>
営業外収益							
1. 受取利息		27			17		
2. 受取配当金		25			31		
3. 連結調整勘定償却額		72			63		
4. 持分法による投資利益		47			<u>229</u>		
5. 賃貸料		76			64		
6. 金型補償代		190			48		
7. その他		171	612	1.0	70	<u>525</u>	<u>0.9</u>
営業外費用							
1. 支払利息		442			383		
2. 製品不良による返品加工賃		158			163		
3. 棚卸資産処分損		57			81		
4. 棚卸差損		181			310		
5. その他		139	979	1.5	22	961	1.6
経常利益			2,160	3.4		<u>1,539</u>	<u>2.5</u>
税金等調整前当期純利益			2,633	4.2		<u>1,236</u>	<u>2.0</u>
法人税、住民税及び事業税		943			377		
法人税等調整額		58	1,001	1.6	<u>16</u>	<u>394</u>	0.6
少数株主利益(減算)			49	0.1		13	0.0
当期純利益			1,581	2.5		<u>828</u>	<u>1.3</u>

## (3)連結剰余金計算書

(訂正前)

		前連結会計期間 (自 平成 12 年 4 月 1 日 至 平成 13 年 3 月 31 日)		当連結会計期間 (自 平成 13 年 4 月 1 日 至 平成 14 年 3 月 31 日)	
区分	注記 番号	金額(百万円)		金額(百万円)	
連結剰余金期首残高			8,995		<u>10,460</u>
連結剰余金減少高					
1.合併に伴う剰余金減少高		0		-	
2.配当金		102		102	
3.役員賞与 (うち監査役分)		13 (1)	116	14 (1)	117
当期純利益			1,581		<u>714</u>
連結剰余金期末残高			10,460		<u>11,057</u>

(訂正後)

		前連結会計期間 (自 平成 12 年 4 月 1 日 至 平成 13 年 3 月 31 日)		当連結会計期間 (自 平成 13 年 4 月 1 日 至 平成 14 年 3 月 31 日)	
区分	注記 番号	金額(百万円)		金額(百万円)	
連結剰余金期首残高			8,995		<u>10,473</u>
連結剰余金減少高					
1.合併に伴う剰余金減少高		0		-	
2.配当金		102		102	
3.役員賞与 (うち監査役分)		13 (1)	116	14 (1)	117
当期純利益			1,581		<u>828</u>
連結剰余金期末残高			10,460		<u>11,185</u>

## (4)連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

		前連結会計期間 (自 平成 12 年 4 月 1 日 至 平成 13 年 3 月 31 日)	当連結会計期間 (自 平成 13 年 4 月 1 日 至 平成 14 年 3 月 31 日)
区分	注記 番号	金額 (百万円)	金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益		2,633	<u>1,089</u>
退職給付引当金の増加額		2,552	<u>29</u>
持分法による投資利益		47	<u>224</u>
棚卸資産の増加額又は減少額( :増加額)		143	<u>1,115</u>
小計		6,297	4,897

&lt; 以下省略 &gt;

(訂正後)

		前連結会計期間 (自 平成 12 年 4 月 1 日 至 平成 13 年 3 月 31 日)	当連結会計期間 (自 平成 13 年 4 月 1 日 至 平成 14 年 3 月 31 日)
区分	注記 番号	金額 (百万円)	金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益		2,633	<u>1,236</u>
退職給付引当金の増加額又は減少額( : 減少額)		2,552	<u>120</u>
持分法による投資利益		47	<u>229</u>
棚卸資産の増加額又は減少額( :増加額)		143	<u>1,121</u>
小計		6,297	4,897

&lt; 以下省略 &gt;

連結財務諸表作成の基本となる事項

(訂正前)

項目	前連結会計年度 (自 平成 12 年 4 月 1 日 至 平成 13 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 13 年 4 月 1 日 至 平成 14 年 3 月 31 日)
重要な引当金の計上基準	<p data-bbox="534 450 751 479">□ . 退職給付引当金</p> <p data-bbox="724 546 778 575">前略</p> <p data-bbox="555 642 970 763">なお、会計基準変更時差異 (298 百 万円) については、5 年による按分額 を費用処理している。</p> <p data-bbox="724 831 778 860">後略</p>	<p data-bbox="997 450 1214 479">□ . 退職給付引当金</p> <p data-bbox="1187 546 1241 575">前略</p> <p data-bbox="1187 642 1241 672"><u>同左</u></p> <p data-bbox="1187 831 1241 860">後略</p>

(訂正後)

項目	前連結会計年度 (自 平成 12 年 4 月 1 日 至 平成 13 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 13 年 4 月 1 日 至 平成 14 年 3 月 31 日)
重要な引当金の計上基準	<p data-bbox="534 1303 751 1332">□ . 退職給付引当金</p> <p data-bbox="724 1400 778 1429">前略</p> <p data-bbox="555 1496 970 1617">なお、会計基準変更時差異 (298 百 万円) については、5 年による按分額 を費用処理している。</p> <p data-bbox="724 1684 778 1713">後略</p>	<p data-bbox="997 1303 1214 1332">□ . 退職給付引当金</p> <p data-bbox="1187 1400 1241 1429">前略</p> <p data-bbox="1018 1496 1433 1617"><u>なお、会計基準変更時差異 (455 百 万円) については、5 年による按分額 を費用処理している。</u></p> <p data-bbox="1187 1684 1241 1713">後略</p>

注記事項

【退職給付関係】

(訂正前)

< 前略 >

2. 退職給付債務及びその内訳

	前連結会計年度 (平成 13 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (平成 14 年 3 月 31 日)
(1) 退職給付債務 (百万円)	3,526	<u>3,720</u>
(2) 年金資産 (百万円)	1,240	<u>964</u>
(3) 未積立退職給付債務 (1) + (2) (百万円)	2,285	<u>2,756</u>
(4) 会計基準変更時差異の未処理額 (百万円)	238	<u>179</u>
(5) 未認識数理計算上の差異 (百万円)	41	349
(6) 未認識過去勤務債務 (債務の減額) (百万円)	-	-
(7) 連結貸借対照表計上額純額 (3) + (4) + (5) + (6) (百万円)	2,556	<u>2,585</u>
(8) 前払年金費用 (百万円)	-	-
(9) 退職給付引当金 (7) - (8) (百万円)	2,556	<u>2,585</u>

(注) 国内連結子会社は退職給付債務の算定にあたり簡便法を採用している。

3. 退職給付費用の内訳 (当連結会計年度 平成 12 年 4 月 1 日から平成 13 年 3 月 31 日まで)

	前連結会計年度 (自 平成 12 年 4 月 1 日 至 平成 13 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 13 年 4 月 1 日 至 平成 14 年 3 月 31 日)
(1) 勤務費用 (百万円)	201	<u>306</u>
(2) 利息費用 (百万円)	89	84
(3) 期待運用収益 (百万円)	36	<u>29</u>
(4) 会計基準変更時差異の費用処理額 (百万円)	59	<u>59</u>
(5) 臨時に支払った割増退職金 (百万円)	20	29
(6) 数理計算上の差異の費用処理額 (百万円)	-	<u>2</u>
合計	215	<u>327</u>

< 以下省略 >

(訂正後)

< 前略 >

2. 退職給付債務及びその内訳

	前連結会計年度 (平成13年3月31日)	当連結会計年度 (平成14年3月31日)
(1) 退職給付債務(百万円)	3,526	<u>3,685</u>
(2) 年金資産(百万円)	1,240	<u>1,184</u>
(3) 未積立退職給付債務(1)+(2)(百万円)	2,285	<u>2,501</u>
(4) 会計基準変更時差異の未処理額(百万円)	238	<u>273</u>
(5) 未認識数理計算上の差異(百万円)	41	349
(6) 未認識過去勤務債務(債務の減額)(百万円)	-	-
(7) 連結貸借対照表計上額純額(3)+(4)+(5)+(6) (百万円)	2,556	<u>2,424</u>
(8) 前払年金費用(百万円)	-	-
(9) 退職給付引当金(7)-(8)(百万円)	2,556	<u>2,424</u>

(注) 国内連結子会社は退職給付債務の算定にあたり簡便法を採用している。

3. 退職給付費用の内訳 (当連結会計年度 平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)

	前連結会計年度 (自平成12年4月1日 至平成13年3月31日)	当連結会計年度 (自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)
(1) 勤務費用(百万円)	201	<u>286</u>
(2) 利息費用(百万円)	89	84
(3) 期待運用収益(百万円)	36	<u>40</u>
(4) 会計基準変更時差異の費用処理額(百万円)	59	<u>91</u>
(5) 臨時に支払った割増退職金(百万円)	20	29
(6) 数理計算上の差異の費用処理額(百万円)	-	<u>3</u>
合計	215	<u>264</u>

< 以下省略 >

【税効果会計関係】

(訂正前)

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(平成13年3月31日)	(平成14年3月31日)
	(百万円)	(百万円)
繰延税金資産		
退職給付引当金損金算入限度超過額	830	843
賞与引当金損金算入限度超過額	166	216
未払事業税	40	12
減価償却費超過額	27	32
役員退職慰労引当金	39	37
ゴルフ会員権等評価損	21	22
棚卸資産未実現利益	10	6
繰越欠損金	499	477
その他	127	105
繰延税金資産小計	1,764	1,750
評価性引当額	621	612
繰延税金資産合計	1,142	1,138
繰延税金負債		
買換資産圧縮積立金	190	184
特別償却準備金	21	18
貸倒引当金調整額	0	0
その他有価証券評価差額	-	851
その他	10	3
繰延税金負債合計	222	1,056
繰延税金資産の純額	920	82



(訂正後)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前連結会計年度 (平成13年3月31日)	当連結会計年度 (平成14年3月31日)
	(百万円)	(百万円)
繰延税金資産		
退職給付引当金損金算入限度超過額	830	794
賞与引当金損金算入限度超過額	166	216
未払事業税	40	12
減価償却費超過額	27	32
役員退職慰労引当金	39	37
ゴルフ会員権等評価損	21	22
棚卸資産未実現利益	10	6
繰越欠損金	499	477
その他	127	105
繰延税金資産小計	1,764	1,701
評価性引当額	621	612
繰延税金資産合計	1,142	1,089
繰延税金負債		
買換資産圧縮積立金	190	184
特別償却準備金	21	18
貸倒引当金調整額	0	0
その他有価証券評価差額	-	851
その他	10	3
繰延税金負債合計	222	1,056
繰延税金資産の純額	920	33

【セグメント情報】

1. 事業の種類別セグメント情報

(訂正前)

< 前略 >

当連結会計年度 (自 平成 13 年 4 月 1 日 至平成 14 年 3 月 31 日)

	ダイカ スト 部 門 (百万円)	アルミ ニウム 部 門 (百万円)	完 成 品 部 門 (百万円)	計 (百万円)	消 去 又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	53,076	4,038	4,534	61,649	-	61,649
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	446	-	446	(446)	-
計	53,076	4,484	4,534	62,096	(446)	61,649
営業費用	<u>49,647</u>	4,285	<u>4,501</u>	<u>58,434</u>	1,382	<u>59,816</u>
営業利益	<u>3,429</u>	199	<u>32</u>	<u>3,661</u>	(1,828)	<u>1,833</u>
資産、減価償却費及び資本的支出						
資産	<u>36,326</u>	2,388	<u>2,132</u>	<u>40,846</u>	<u>9,052</u>	<u>49,899</u>
減価償却費	3,256	65	50	3,372	66	3,438
資本的支出	4,578	74	57	4,710	78	4,788

(注) 1.2.及び 4.<略>

3. 「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容は以下のとおりである。

	前連結会計年 度 (百万円)	当連結会計年 度 (百万円)	主な内容
消去又は全社の項目に含 めた配賦不能営業費用	1,751	1,828	親会社本社の管理部門に係る費用
消去又は全社の項目に含 めた全社資産の金額	8,148	<u>9,091</u>	親会社での余資運用資金(現金及び 有価証券)及び管理部門に係る資産 等

(訂正後)

<前略>

当連結会計年度(自 平成 13 年 4 月 1 日 至平成 14 年 3 月 31 日)

	ダイカ スト 部 門 (百万円)	アルミ ニウム 部 門 (百万円)	完 成 品 部 門 (百万円)	計 (百万円)	消 去 又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	53,076	4,038	4,534	61,649	-	61,649
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	446	-	446	(446)	-
計	53,076	4,484	4,534	62,096	(446)	61,649
営業費用	<u>49,511</u>	4,285	<u>4,495</u>	<u>58,292</u>	1,382	<u>59,674</u>
営業利益	<u>3,565</u>	199	<u>39</u>	<u>3,804</u>	(1,828)	<u>1,975</u>
資産、減価償却費及び資本的支出						
資産	<u>36,319</u>	2,388	<u>2,131</u>	<u>40,839</u>	<u>9,026</u>	<u>49,866</u>
減価償却費	3,256	65	50	3,372	66	3,438
資本的支出	4,578	74	57	4,710	78	4,788

(注) 1.2.及び 4.<略>

3.「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容は以下のとおりである。

	前連結会計年 度 (百万円)	当連結会計年 度 (百万円)	主な内容
消去又は全社の項目に含 めた配賦不能営業費用	1,751	1,828	親会社本社の管理部門に係る費用
消去又は全社の項目に含 めた全社資産の金額	8,148	<u>9,065</u>	親会社での余資運用資金(現金及び 有価証券)及び管理部門に係る資産 等

## 2. 所在地別セグメント情報

(訂正前)

<前略>

当連結会計年度(自 平成13年4月1日 至平成14年3月31日)

	日 本 (百万円)	北 米 (百万円)	計 (百万円)	消 去 又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高及び営業利益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	53,783	7,866	61,649	-	61,649
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	522	4	526	(526)	-
計	54,305	7,870	62,176	(526)	61,649
営業費用	<u>51,126</u>	7,431	<u>58,558</u>	1,258	<u>59,816</u>
営業利益	<u>3,179</u>	439	<u>3,618</u>	(1,785)	<u>1,833</u>
資産	<u>35,100</u>	5,953	<u>41,054</u>	8,845	<u>49,899</u>

(注) <略>

(訂正後)

<前略>

当連結会計年度(自 平成13年4月1日 至平成14年3月31日)

	日 本 (百万円)	北 米 (百万円)	計 (百万円)	消 去 又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高及び営業利益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	53,783	7,866	61,649	-	61,649
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	522	4	526	(526)	-
計	54,305	7,870	62,176	(526)	61,649
営業費用	<u>50,984</u>	7,431	<u>58,415</u>	1,258	<u>59,674</u>
営業利益	<u>3,321</u>	439	<u>3,760</u>	(1,785)	<u>1,975</u>
資産	<u>35,093</u>	5,953	<u>41,046</u>	8,819	<u>49,866</u>

(注) <略>